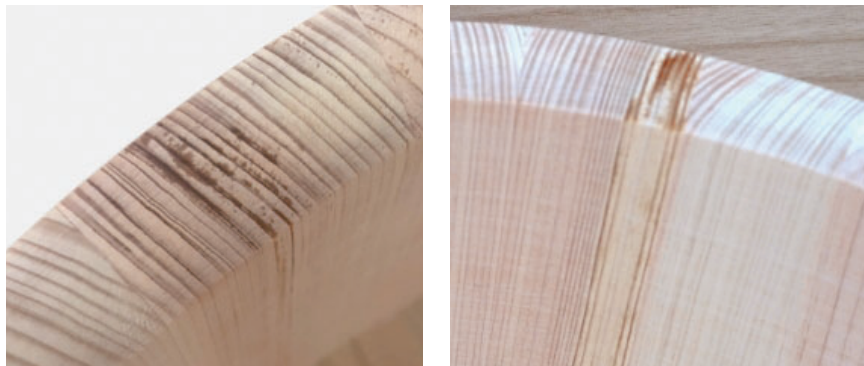


末永く大切にご使用いただくために



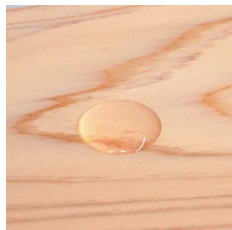
ヒノキ材は防カビや防虫効果のある油分（ヤニ）が出てくる場合があります。ヤニが出るのは木を化学薬品で加工していない健康な木であることの証明であり、天然木を使用した証です。

ヤニ（油分）のケア方法

薄いものはエタノール（アルコール）で拭き取っていただくとお程度落とすことができます。
濃いものは付属の紙やすりで優しく表面を削ると目立たなくなります。

お手入れの方法について

軽い凹みや傷



- ① 気になる部分に直接水を垂らし木に吸わせる。
- ② 木が水を吸って膨らむことで傷等が目立たなくなる場合がございます。

凹みや傷



- ① 濡れた布をかぶせる。
- ② 上からアイロンを何度か押し当てる。
※無地で色移りのしにくい布をご使用ください。
場所によっては難しい場合もございますので焦げ付きやヤケドにご注意ください。

汚れが付着した場合



汚れやシミを目立たなくするにはやすりがけしてください。
※紙やすりは目の細かい番手をご使用ください。
(280~400番手推奨)

フェルトの貼り付け位置について

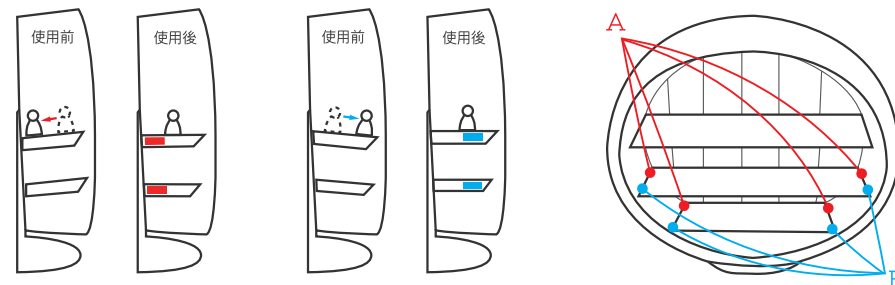
■ 人形の位置がずれる場合は下図を参考にご対応ください

風合いのある天然木の製品ですので、木の特性や季節によって歪みが発生する場合がございます。
棚板を置いた際にガタツキがみられた場合は、同封しております「フェルト」をご利用いただき人形がずれない程度に角度の修正をしてください。

A：人形が奥にずれる

B：人形が手前にずれる

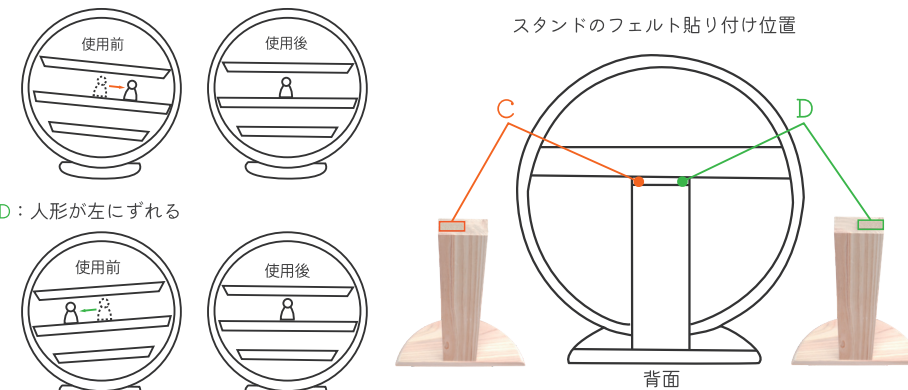
棚板のフェルト貼り付け位置



※棚板は平面になっている側を奥に向けて設置してください。ネジ留めの必要はございません。

C：人形が右にずれる

スタンドのフェルト貼り付け位置



D：人形が左にずれる

フェルトのご使用方法

- ① 接着面のゴミ、汚れ、木屑などを綺麗に拭き取ってください。
- ② ガタツキの具合に合わせて1mm または2mm の厚みを選び、はくり紙をつけたまま必要なサイズにカットしてください。
- ④ はくり紙をはがし、強く押さえて接着してください。

1 mm

2 mm

円形台座について詳しくご紹介

■ 木のぬくもりを感じる台座を作る答えは桶作り製法にありました

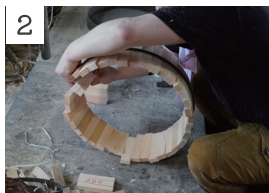


木で円形台座を作るにはどうしたらいいんだろう？
どんな風に作れば他にはないこだわりを感じてもらえるだろう？
色々な方法を模索する中で桶職人さんとの出会い、全て手作業で作る桶に唯一無二の魅力を感じ円形台座は完成しました。
よく見るとひとつひとつの形が違い、同じものは一つとしてありません。
そんな桶作り製法の秘密をお教えします。

■ 想像をはるかに超えた手間と職人の技が光る製造行程



1 始まりは小さな木片から



2 仮輪に合わせて木を組む



3 仮輪を打ち込んで固定し乾燥



4 底板はミリ単位で調整

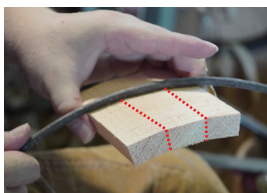


5 底板をピッタリとはめ込む



6 「ろくろ」でやすりがけ

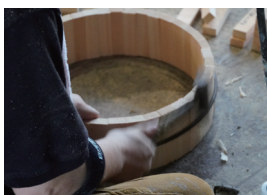
■ 円形台座のここがすごい3選！



01 職人さんの熟練された技術

桶作り製法で木片を組み合わせ接着して円形にしています。組み合わせる木片の削り具合は職人さんの熟練した手の感覚から作られます。底板などもミリ単位で修正しぴったりとしたサイズに仕上げています。

よくみると
組み合わせて
できているのが
わかるかも？



02 タガを無くしたデザイン

円形台座は通常の桶にある側面に巻かれている「タガ」という輪を無くしたデザインにこだわっています。仕上がるまでに仮輪を付けたり外したりしながら調整して作られるため、所々ボツンと残る仮輪の跡も職人技が垣間見えるポイントです。

仮輪の跡を
見つけて
みてね♪



03 工程ごとに丁寧にやすりがけ

丸く綺麗な円形を目指すため横回転する機械で縦の木目に対して横方向（木目に逆らった形）でやすりがけをしています。
なめらかな表面は職人さんが何度も丁寧にやすりがけしてくれることにより生まれています。

完璧な正円では
ないのが手作り
ならではの！

仕様または木の特徴について

木製品かつ職人による手作業の為、下記のような特徴が現れる場合がございます。

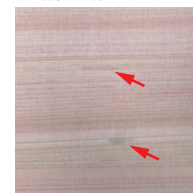
どれも品質上問題なく製造工程上避けられない特徴であり、仕様の範囲内とさせていただきます。

逆目



木材の繊維方向が逆になっていることで発生し、少しざらつく感触が特徴です。

仮輪の跡



製造工程の都合上タガの仮輪の跡が所々残る場合がございます。（側面）

バリ



桶の底面と側面の境目に発生しますが製造工程の都合上避けられない特徴です。

パテ埋め



タッカー跡など製造工程で埋める必要がある箇所にのみ施しております。

節



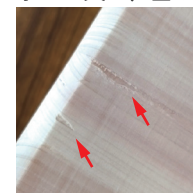
木が成長する際に枝にあった位置が節として現れます。虫食いでございます。

接着跡



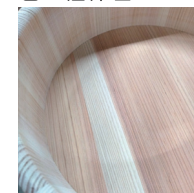
木片同士を接着した境目に黒い線で現れる場合がございます。

小さな欠け、凹み



ひのきは柔らかい木材のため軽くぶつけるだけでも発生します。紙やすりで対処可能です。

色の個体差



木目は成長環境などの要因により個体差があり、色味が異なります。



その他詳しいお手入れ方法や、ご不明点などはこちらのQRコードより【よくある質問ページ】をご確認ください。



モノを大切に、
自分らしく暮らす。

(株)ウィニーズホールディングス 広島市南区京橋町1-7 アスティ広島京橋ビルディング7F
<mail> shop@hito-to-ki.com